

白鷹町認知症高齢者
見守りネットワーク



見守り
支え合い

お年寄りが地域で安心・安全に暮らせるよう応援します

介護ワンポイントアドバイス
地域包括支援センター Tel.86-0112

高齢者の気持ちを考えてみましょう

認知症のかたを介護している人の中には、さまざまな症状にも上手に対応している人がいます。介護者も要介護者も穏やかに生活するためには、その症状がどうして起こるのかを考えて接することが大切です。

◎頻繁な問いかけや要求は不安の裏返し

「今までできていたことがだんだんできなくなってくる」「さっきまで覚えていたことが思い出せなくなる」などの症状が出てくると、自分の中で何が起きているのかわから

ずに、恐怖と不安で気持ちを落ち着けることができなくなり、ますますその不安を解消したいと思つて、親しい人や身近な人に自分の不安を伝えようとします。

◎事実を認めないのは覚えていないから

「ご飯はまだですか?」「さつき食べたでしょう」など、本人が覚えていない事実を告げたとしても、本人はそれが事実であることを理解できません。介護者の言葉にうなずくことがあつたとしても、心の奥で首をかしげていることもあるかもしれません。自分の言葉を否定されると、不安感がより強くなつて症状が悪化してしまうことがあります。

↓ 本人の言動を否定せず、受け入れやすい言葉や態度で接することが大切です。

◎落ち着いてほしいとき、はわからなくなることがあります。不安になつてくるとき

自宅に居るのに、夜になると「家に帰る」など外出したがる場合は、自分の居場所がわからなくて不安になつていくのです。私たちでも、道を間違えて知らない場所にきてしまったときなどは不安な気持ちになりませんか。

↓ 部屋や廊下の明かりをつけておいたり、テレビの音を小さくしてつけておくなど、認知症のかたの不安を解消できるようにしておくことと治まりやすくなります。

トイレの場所がわからなくなつている場合には、トイレのドアに大きく「便所」など高齢者にもわかる名称で書いた紙を張っておいたり、ドアを開けておいたりしてここがトイレであることをわかりやすく示すと効果がある場合があります。

このように、その行動はなぜ起こるのかを考えて対応していくと、困った行動を予防

できることがあります。相手の気持ちを考えて、その人のペースにあわせた対応をとることがとても大切なことです。

認知症は、誰もがなる可能性のある身近な病気です。自分が不安なときはどんな言葉をかけてほしいか、どんな接し方をしてほしいかなど考えながら対応すると、不思議と互いに穏やかに過ごせることが増えてきます。

介護者研修会を開催します

いつ 9月30日(木)
午後1時30分～3時

▼どこで 健康福祉センター

▼内容 主任ケアマネジャーから認知症のことや上手な介護サービスの使い方を学びます。

(認知症の人と家族の会共催)

■研修会のお申込み、認知症に関するご相談は…

地域包括支援センター
(☎86-0112)

8月の町長交際費

平成22年8月に支出された町長交際費についてお知らせします。

■問い合わせ
総務課総務係 ☎85-6120

支出日	区分	支出額(円)	内容
8月16日	献酒	3,000	鮎貝地区交通安全祈願祭
8月17日	香典	10,000	
8月19日	御祝	5,000	朝日町「蔵のひろば」グランドオープン式典
8月19日	御祝	3,100	八乙女八幡神社例大祭
8月20日	御祝	3,200	十王夏祭り
8月20日	御祝	3,200	萩野夏祭り
8月26日	御祝	2,960	諏訪神社例大祭
8月30日	協賛	14,700	モンテディオ山形白鷹町応援デー
8月31日	香典	5,000	
	計	50,160	